

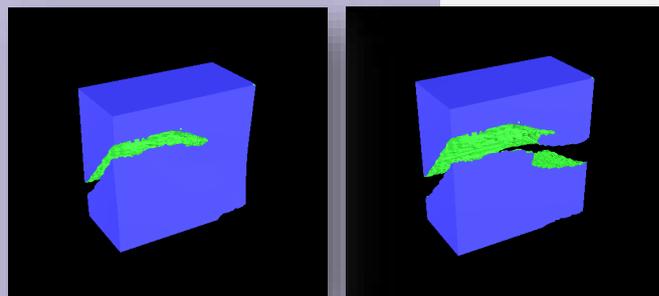
第20回

高石 武史 氏

(広島国際学院大学工学部)

フェーズフィールドで見るき裂進展： そのコンセプトと応用

材料や構造物の破壊は、その結果が時に大きな被害をもたらすため、古くから研究が積み重ねられてきた。近年シミュレーションによる研究が進んできたが、破壊により生じる新たな表面や形状の変化を表現するために、様々な計算テクニックが用いられている。講演者と木村は、このような自由表面をフェーズフィールドで記述したBourdin-Francfort-Marigoの近似エネルギーから数値計算しやすいシンプルな時間発展方程式を導出することで、シミュレーションによる複雑なき裂進展を再現できることを示した。本講演では、このモデルを紹介する中で、他分野との関連や、その応用面についても述べる。

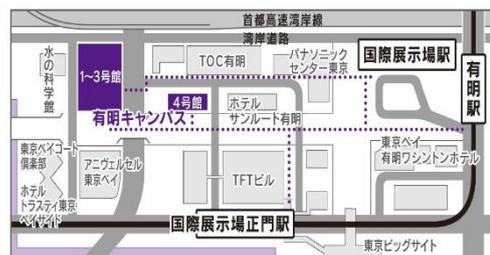


2月 7日 (水) 16:30-18:00

武蔵野大学有明キャンパス, 4号館 4階 412室

事前登録不要・参加無料：どなたでも自由にご参加いただけます。

りんかい線「国際展示場駅」徒歩7分



コーディネーター：木下 修一 (武蔵野大学工学部数理工学科 准教授)

問い合わせ先：武蔵野大学数理工学センター

https://www.musashino-u.ac.jp/research/laboratory/mathematical_engineering/

世界の幸せをカタチにする。

Let's connect. Let's create. Let's share.



Musashino University

